中央公民館だより

平成 27 年 8 月 1 日発行
三原市中央公民館
三原市円一町 2 丁目 3 番 1 号
TEL　0848-64-2137　FAX 64-0137

並木宗輔　生誕 320 年企画
主催「人形劇創造」講座　９月開講

皆さんは，三原ゆかりの偉大な劇作家，並木宗輔（1695~1751）をご存知でしょうか。

彼は人形浄瑠璃の三大名作「菅原伝授手習鑑」「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」の中心的な作者。近松門左衛門以降の人形浄瑠璃界を支え，黄金時代を築いた人物です。出生地は不詳ですが，近年の研究で，漢詩集「三原集」に作品が掲載されていることから，三原・成就寺に 30 歳まで雲水として起居していたことが分かっています。

没後 260 年を記念して，2011 年 1 月 7 日～23 日，『日本のシェークスピア　並木宗輔パネル展』が三原市民ギャラリーで開催されました。また，同 15 日には，宗輔の研究で名高い内山美樹子 早稲田大学名誉教授による『日本のシェークスピア・並木宗輔と三原』と題する講演が行われています。

さて，今年は生誕 320 年。中央公民館では，標記講座を開講いたします。並木宗輔の業績を讃え，その土壌を育んだ三原の歴史的風土を見直すきっかけにもなればと思っております。脚本作成から人形の制作，音響・照明を含めた舞台稽古から発表までの一連の過程を学びます。人形劇は創る楽しさと観客の前で演じる楽しさ，２つの楽しさが経験できます。伝えたい想いを具体的に形にしていく技術的な方法を学び，何気なく蓄積されたご自身の発想を人形劇で表現してみませんか。

日　時　:平成 27 年 9 月 11 日(金）～平成 28 年 3 月 18 日(金)までの月 2 回，全 16 回講座
【中央公民館作品展示・学習発表会】舞台発表の部に出演
場　所　：三原市中央公民館　第一講座室(2 階)
参加費　：2,400 円/年
材料費　：人形制作にかかる費用は実費自己負担
定　員　：大人 12 名
講　師　：パペットステージ　ぷか　　高橋　清さん
申込み　:平成 27 年 8 月 3 日(月)～8 月 25 日(火)
電話にて下記連絡先へ
連絡先　：〒723-0015　三原市円一町二丁目 3 番 1 号
三原市中央公民館 「人形劇創造」講座まで　TEL　0848-64-2137
日　程　：時間は原則 10:00~12:00　※3 月 5 日 13:00~15:00,3 月 6 日 14:00~15:00

開講日	内容	開催日	内容
9 月 11 日（金）	台本作り	1 月　8 日（金）	読み稽古
9 月 25 日（金）	人形作り①（頭）	1 月 22 日（金）	立ち稽古①
10 月　9 日（金）	人形作り②(手・足・体)	2 月 12 日（金）	立ち稽古②
10 月 30 日（金）	顔の表情作り	2 月 19 日（金）	立ち稽古③
11 月 13 日（金）	衣装作り	2 月 26 日（金）	人形劇の完成
11 月 27 日（金）	セット・小道具作り①	3 月　5 日（土）	リハーサル
12 月 11 日（金）	セット・小道具作り②	3 月　6 日（日）	舞台発表
12 月 25 日（金）	人形操作	3 月 18 日（金）	まとめ

８月の体験講座

講座名	開催日時	対象	参加費	持参物	定員	申込期間
夏休み子ども工作 「ウキウキ金魚をつくろう」	８月 21 日（金） 9:30～11:30	小学生と 保護者	100 円	500ml 空ペットボトル一人１本	30 組	８月３日 ～８月 19 日
フランス語“超”初級講座 （全３回）	８月 21 日（金） ８月 28 日（金） ９月 ４日（金） 14:00～16:00	大人	100 円	筆記用具	15 人	８月３日 ～８月 19 日
おうち de カフェ 「キーマ・カレーをつくろう」	８月 25 日（火） 10:00～12:00	大人	1,300 円	米半合，エプロン，三角巾，手拭タオル ふきん	24 人	８月３日 ～８月 21 日

《フランス語“超”初級講座》――全３回講座です

第一講座＝旅行に役立つフランス語（空港・ホテル・レストラン等で役立つワンポイント講座）

第二講座＝ワインとフランス語（ワインのラベルの読み方やワイン文化を学ぶ・ワインの豆知識）

第三講座＝フランス語で歌を唄いましょう（なじみのある歌謡曲をフランス語で歌ってみましょう）

私流 “仕事の流儀”

㈱サービスセンター 西部さんと金丸さんの場合

早いもので，既に１年の半分が経過しました。これまでにたくさんの方に，各講座を初めとして様々な行事やイベントに本館を利用していただいています。

さて，この公民館活動に携わっているのは，何も職員のみに限りません。空調等の施設・設備の管理から清掃作業に至るまで，委託会社の方々にも大いに支えていただいています。

その中で，毎日朝から夕方まで，中央公民館の１階から３階までのほぼ全館の清掃をたった一人で引き受け，誠心誠意，館の利用者の皆さんの利便を図ってくださっているのが西部さん（月～金・日）と金丸さん（土）です。お二人の仕事に関するプロの極致を伺ってみました。代表して西部さんにインタビュー…

彼女の，中央公民館勤務は１年７ヶ月目を迎えます。ポリシーはただ一つ〝皆様に美しく気持ちよく使っていただきたい”に尽きるそうです。着任から真心をこめて特にトイレのそうじをがんばっておこなっておられます。するとその気持ちが届くのか，この頃使っていただく方のマナーがどんどんよくなっていくのを感じられるそうです。また，主催講座でのごみなどの持ち帰りにもご協力いただいて，ごみの量は増えてはいません，とのこと。各種使い分ける洗剤や細かいところの掃除のコツなどは『企業ひ・み・つ』とおちゃめに笑っておられました。

以心伝心…心は伝わるということを身をもって教えていただきました。

編集後記

夏といえば，何を連想しますか？私は，高校野球です。特に，中学生の時，広島商業の大ファンでした。

1973 年，どうしても甲子園に行きたくて，忙しい両親に代わって，叔母が連れて行ってくれました。山陽新幹線はまだ岡山までしか開通しておらず，岡山まで在来線で行き，新神戸まで新幹線に乗ったことを覚えています。

この年の広商は，佃，金光，達川選手がいて，決勝戦で作新学院(江川投手)をくだし，みごと優勝をはたします。私は，甘いマスクの佃投手のファンでした。「広島野球は機動力の野球」とアナウンサーが連呼し，「スクイズ，やりました，”優勝”です！」と…まだ耳に残っています。この時の監督は，もちろん現如水館高校の迫田穆成監督でした。

今も熱闘甲子園を録画して，毎日感動しています。一生懸命，白球を追う高校生がたくましくて，りりしくて，いつまでも年上のお兄さんに感じられてしまうのは何故かしら？と思う“アラ還”の私です。

※豆知識――1974 年佃，金光，江川選手は揃って法政大へ進学し，同年，“長島”引退，同年，松井秀樹選手が産声をあげています。